

第 55 回 幸福度日本一の静岡県（広報まつざき 令和 8 年 7 月号掲載）

鈴木康友県知事が静岡県の目指す姿を「ウェルビーイング・幸福度日本一の静岡県」としました。社会全体の不安感や不確実性が高まる中、物質的な豊かさに加えて「県民が安心して、幸せを実感できること」の重要性が高まっているとし、「ウェルビーイング」の視点を取り入れた静岡県づくりを推進するとしています。また、推進にあたっては、行政だけでなく、県民、企業、団体等の多様な主体が効果的に連携することが不可欠とし、オール静岡で一丸となり、「幸福度日本一の静岡」を目指すとしています。これは、松崎町が第六次総合計画で、町の将来像として掲げている「ここでは、誇り高く、穏やかに、豊かに生きられる～コンパッションタウン松崎～」と通じるものが多く、町民（県民）の目線に立った政策の充実・強化につなげ、強みを一層伸ばし、弱みを補うことで幸せを感じられる地域づくりを推進するものです。

鈴木知事は、伊豆半島地域の目指す姿を「豊かな自然と元気な観光産業などが輝き、人が人を呼ぶ持続可能な地域」としています。観光の活性化や二地域居住の推進、半島防災の推進など、共通の目標となっています。素晴らしい松崎町を将来へつなぐために、より一層静岡県との共創を図ってまいります。